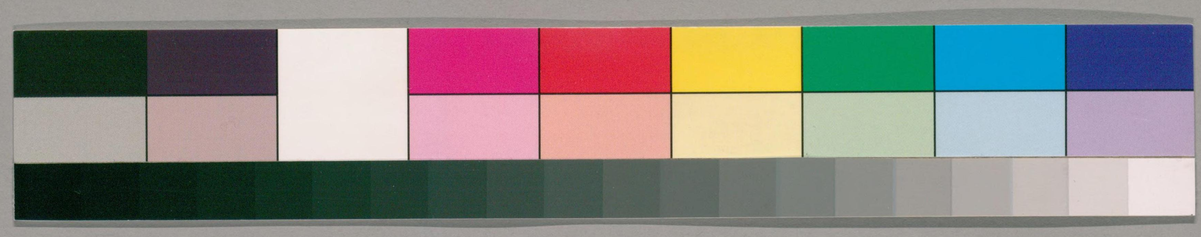


826
371
91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

帝国書院蔵

近衛府

二宅家傳

346

元近衛府生源直成

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

正徳五年十一月八日　源陽直
寶暦三年二月五日　生
同　年二月六日　補灑口
同日　叙従六位下　二十九歳
同日　任右衛門少志
同七年十二月廿日　任右衛門少尉　四十七歳
同十一年八月廿八日　叙従六位上

大正 6. 4. 13 購求

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

明和六年六月一日　叙正六位下　五十五歳
同　日　任左衛門大尉
安永三年八月廿八日　解官止位記
天明八年二月十八日　死　七十四歳
延享四年九月廿九日　直恒　陽直男
寶暦十一年十二月廿日　生
叙従六位下　十五歳

同　日　任右兵衛少志
同十四年二月九日　辞官返上位記
元文五年正月八日　直好　陽直男
明和四年二月四日　生
同　日　叙従六位下　二十八歳
同五年二月廿一日　任右兵衛大志
補帯刀

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

安永四年後十二月十九日　叙従六位上
同　日　任右兵衛大尉
天明元年六月廿八日　辞瀧口
同　日　補府随身　三十六歳
同　日　叙従六位下　四十二歳
同年十月十八日　補左近衛府生

同四年閏十二月廿日　死　四十五歳
直胖　道好男
明和七年十月廿八日　生
天明二年三月廿八日　叙従六位下　十三歳
同　日　補右近衛府生
同七年十一月四日　補院御随身　二十歳
寛政元年六月五日　叙従六位上

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

同五年九月廿日　任左近衛將曹　二十七歳
同八年五月廿四日　叙正六位下　三十四歳
享和三年十二月十九日　叙正六位上
同日　轉任左近衛將監
同　年同月廿四日　還補本府　五十一歳
文政三年三月九日　叙從五位下　六十二歳
天保二年二月廿日　叙從五位上

同八年四月廿九日　卒　六十八歳
文化元年正月廿日　直成　直脾男
文政十二年四月廿日　生
同　日　叙從六位下　二十六歳
天保二年十月七日　補左近衛府生
同　七年二月十日　補院近衛代　二十三歳
叙從六位上

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

天保七年三月三日　直中　直成男
天保十五年正月廿日　生
同日　叙従六位下　九歳
嘉永四年十一月廿日　補左近衛府生
叙従六位上　十六歳

近衛府

二宅家傳

石近衛番長源直威

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

文政十三年正月十二日
弘化二年正月二十二日

源直威 近衛府左近衛府生直威ヲ

補 生

右近衛番長六歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91　　ガラス使用

良意

桃園院御宇御再興 寛宝

以後中絶 至丁丑年九月朔日

願之通 三宅遠江守名前之御書付

意諚

明和四年十二月十日 附書之 不分 口宣之以テ

呈 乳上候

丁十二月四日

兼清 叙正六位下 宮達候

月 茂清 初位下 口宣案 初官下之通候

清生 兼清 本紙斗 兼者候 相帳ハ 当月申上 兼上候儀 御所ニ申上候

近衛府
三宅家傳

右近衛将監兼伊豫介源意治

宝永三年廿月廿九日　源意次　叙従六位上　五十七歳

同日　任右近衛将曹

同日　兼任遠江守

正徳二年六月廿八日　叙正六位下　六十三歳

同日　轉任右近衛将監　遠江守如旧

享保九年十月十二日　死　七十五歳

意宣　意次男

正徳四年二月廿四日
同日
享保十一年八月廿二日
享保八年十二月七日
宝暦五年九月七日
同日
同十二年十二月十九日

叙従六位上　二十三歳
任右近衛将曹
死　二十五歳
良意　意宣男
生
叙従六位下　三十二歳
補右近衛府生
叙従六位上　四十歳

同日
明和七年九月十二日
同八年二月廿二日
天明元年閏五月十六日
寛政二年十月一日
同四年閏二月廿六日
同日
同九年八月廿八日

任右近衛将曹
補院御随身
叙正六位下　四十九歳
叙正六位上　五十九歳
還補本府
叙従五位下　七十歳
転任左近衛将監
卒　七十五歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

寛延四年七月十日
宝暦十三年廿四日
同日
明和四年十一月九日
同七年宝六月八日

宝暦四年七月十三日
意詮 良意男
生
叙従六位下 十二歳
補右近衛府生
任左近衛将曹
辞官返上位記
意悟 良意男
生

寛政三年十二月廿一日
同日
同四年三月廿六日
同五年十月十日
同十一年十二月廿一日
文化三年三月十六日
同日
同四年二月廿八日
叙従六位下 三十八歳
補左近衛府生
任左近衛将曹
兼任安房守
叙従六位上 四十六歳
叙正六位下 五十二歳
転任左近衛将監 安房守如旧
遷任播磨介 左近衛将監如旧 辞安房守

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

同十年十月廿七日
同十三年七月廿九日

天明八年十一月廿三日
寛政十年十二月九日
同日
享和元年十月十四日
文化二年春月十七日

叙正六位上　六十歳
死　六十二歳
意誠　意憙男
生
叙従六位下　十一歳
補元近衛府生
補院御随身
叙従六位上　十八歳

同九年十月廿三日
同日
同十四年三月廿四日
文政二年十二月八日
同日

同年同月二十七日
同十三年十月廿日
天保八年七月九日

叙正六位下　三十五歳
任右近衛将曹
補院御随身
叙正六位上　三十二歳
転任右近衛将監
還補本府
叙従五位下　四十二歳
卒　五十歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

文化九年十二月十二日
文政十一年十二月廿六日
同日
同十二年七月十日
天保六年十二月廿四日
同十三年九月二十日
嘉永二年二月廿八日

意治 意誠養子
生
叙従六位下 十七歳
補右近衛府生
任右近衛将曹
叙従六位上 二十四歳
叙正六位下 二十一歳
叙正六位上 二十八歳

同六年二月四日
安政二年二月十七日

兼任伊豫介
轉任右近衛将監 伊豫介如旧

意吉 意治男
生
叙従六位下 十七歳
補右近衛府生
叙従六位上 廿四歳

文政十三年十月七日
弘化三年十月廿日
同日

嘉永六年二月廿日

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

近衛府

村雲家傳

右近衛府生藤原可信

年月日

源康成

叙従五位下

年月日

康親

叙従五位下

年月日

康章

叙従五位下

年月日

康信

叙従五位下

年月日

弘安二年月日
年月日

元亨年中月日

延文二年月日

信衛
叙正六位上
任左近衛番長
信易
叙従五位下
任左衛門大尉
式信
叙従四位下

年月日
従弘安二年至
旧記等焼失、
之人躰信易、

任三河守

宝徳二年月日
信途
叙従五位下
任左近衛将監
兼備前守

同年月日

同年月日

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

弘安二年月日
年月日

元亨年中月日

延文三年月日

信衛
叙正六位上
任左近衛番長
信易
叙従五位下
任左衛門大尉
式信
叙従四位下

年月日
従弘安二年至宝徳二年凡百七十年之間
旧記等焼失尤元亨延文之年号雖有
之人躰信易式信之外無所見

任三河守
信途
叙従五位下
任左近衛将監
兼備前守

宝徳二年月日
同年月日
同年月日

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

信衛
叙正六位上
任左近衛番長

信昜
叙従五位下
任左衛門大尉

式信
叙従四位下

任三河守

年至宝徳二年凡百七十年之間
紀失右元亨延文之年号雖有
信昜式信之人其外無所見

信途
叙従五位下
任左近衛将監
兼備前守

康成より信途迄之処前々旧記雖相分
注進不仕候処此度旧記取調相見候
ニ付注進仕候事

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91　ガラス使用

文正元年十一月三日
同日
信林 信達男
叙正六位上
任備前守
文明十二年九月朔日
同日
成信 信林男
叙正六位下
任備前守
天正十四年五月二日
信之 成信男 始信尚
叙従五位下
同十八年四月十二日
叙従四位下
信和 信之男
文禄二年三月一日
叙従五位下
慶長四年四月十八日
信一 信和男
同日
叙従五位下
任備前守
天正十五年月日
信定 信一男
生

年月日
慶長四年四月十八日
同十五年十二月五八日
同日
元和六年三月日
寛永三年九月一日
同日
寛文元年閏十七日
改姓藤原
叙従六位下十二歳
叙正六位上 廿四歳
任左近衛将監
兼任宋女正
叙従五位下 卅歳
兼任備前守
卒

藤原信生 信定男
明暦元年月日生
寛文二年十二月十四日
叙従六位下 八歳
同日
任左近衛将曹
同年月日
兼任右京大進
同十年十二月廿七日
叙正六位下 十六歳
同日
轉左近衛将監
兼任備前守
延宝七年九月廿一日

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

寛文十年正月廿八日　信友　信生男
延宝八年十二月廿二日　生
同日　叙従六位下　廿一歳
貞享四年十二月廿二日　任右近衛府生
同日　叙従六位上　二十八歳
元禄六年十二月廿九日　轉任右近衛将曹
同日　叙正六位下　三十歳
同八年十二月三日　轉任右近衛将監
延宝七年十二月十一日　死　三十七歳
元禄九年十二月廿八日　信里　信友男　始信音
同日　生
同十五年十二月廿二日　叙従六位下　十八歳
同日　任右近衛府生
宝永二年十二月十八日　叙従六位上　廿四歳
同日　轉任右近衛将曹
勇任右京大進

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

同七年十二月廿四日
享保二年八月廿三日
同　日
同十年十二月廿五日
同十三年十二月廿一日
同十四年正月十一日
延享二年十二月四日

叙正六位下　三十歳
叙正六位上　三十九歳
轉任右近衛将監
叙従五位下　四十七歳
兼任織部正
改名信音
卒　六十七歳
近信　信里男

宝永六年正月十日
享保六年二月廿日
同　日
同十二年十二月廿七日
同　日
同十三年六月十四日
同十七年五月十八日
同　日

生
叙従六位下　十二歳
任右近衛府生
叙従六位上　十九歳
兼任右衛門大尉
補帯刀
叙正六位下　廿四歳
轉任右近衛将曹

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

元文五年十月十八日
延享四年十二月廿七日
宝暦八年二月八日
明和六年正月九日
同年三月一日
安永四年後二月一日
天明五年八月廿日

叙正六位上　三十二歳
轉任右近衛将監
叙従五位下　廿一歳
勅任主計権助
遷任左近衛将監　主計権助如旧
叙従五位上　六十七歳
卒　七十七歳
種信　望信男

元文二年十二月八日
延享四年三月十日
同日
同年同月十九日
宝暦四年二月十四日
同五年十月十四日
同十二年六月十二日
明和五年三月十四日

生
叙従六位下　十一歳
任右近衛府生
補帯刀
叙従六位上　十八歳
轉任右近衛将曹
叙正六位下　二十五歳
叙正六位上　三十歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

同六年五月十一日
同七年九月十二日
安永三年八月廿七日

宝暦七年十月十四日
安永四年三月廿日
同日
同年五月廿八日

転任右近衛将監
補院御随身
解官位
敬信 近信養子
生

叙従六位下 十九歳
任右近衛府生
転任右近衛将曹

天明二年正月十四日
同三年十二月廿二日
寛政元年四月五日
同八年十一月廿八日
文化二年二月十五日
同年九月廿九日

叙従六位上 三十六歳
遷任右近衛将監
叙正六位下 三十歳
叙正六位上 四十歳
叙従五位下 四十九歳
来
主信 敬信養子
生

寛政二年九月廿二日

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

文化二年十二月十九日
同日　叙従六位下　十六歳　補右近衛府生
同四年六月一日　補帯刀　任右近衛将曹
同六年四月一日　叙従六位上　三十二歳　補院御随身
同九年十月廿三日　叙正六位下　三十歳
同十四年三月廿四日　遷任右近衛将監
文政二年十二月十八日　叙従六位上　四十二歳
同四年五月十日　補院近衛代
同年八月四日　還補本府
同七年九月廿七日　軋信　三十五歳　信男
文政二年三月廿三日　生
同十年十二月廿五日　叙従六位下　九歳　補右近衛府生
同日　補院近衛代
天保元年十二月廿八日　叙従六位上　十七歳
同五年十二月廿二日

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

同十年五月三十日　遷任左近衛将曹

同年六月朔日　叙補本府

同十二年三月十八日　補帯刀

同十二年十二月廿二日　叙五位下　廿歳

嘉永元年十二月十九日　叙五位上　三十歳

同七年十月廿日　死　三十七歳

天保十年十月九日　可信　亀信養子

生

安政二年二月十七日　叙従六位下　十六歳

同日　補右近衛府生

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

近衛府

村雲家傳

右近衛將監藤原謹信

藤原豬信 近衛府左近衛将監兼主計権助藤原近信男

寶暦十三年三月廿七日 生

安永七年十二月九日 補府随身

同年同月廿九日 叙従六位下 十六歳

同日 任右近衛府生

同九年三月廿六日 轉任右近衛将曹

天明五年十二月廿八日 叙従六位上 二十三歳

同七年二月廿八日

寛政六年十二月廿一日

安永七年廿月十六日

寛政六年後十月二十日

同日

享和二年十月十九日

同日

文化六年八月廿八日

同十三年十月十五日

文政十二年廿月十三日

同日

嘉永二年三月十日

補院御隨身

辞官及上位記

清信 猪信養子

生

叙従六位下 十七歳

爲左近衛府生

叙従六位上 二十九歳

轉任左近衛将曹

叙正六位下 三十二歳

叙正六位上 三十九歳

叙従五位下 卅二歳

轉任左近衛将監

卒 七十二歳

謹信 清信男
実者近衛番長倉部義秀次男

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

寛政七年十月十日
文政二年九月十二日
同日
同十年十二月十九日
同日
天保元年十二月九日
同五年十二月廿二日
生
叙従六位下 二十六歳
補右近衛府生
叙従六位上 二十三歳
任右近衛将曹
補院近衛、代
叙正六位下 卅歳
生
叙正六位上 卅七歳
叙従五位下 卅八歳
轉任右近衛将監
腔信 謹信男
生
叙従六位下 十三歳
補右近衛府生
同十二年十二月六日
嘉永五年十月九日
安政元年十二月三日
文政五年六月廿四日
天保五年四月廿九日
同日

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

同十二年十二月廿二日

嘉永元年十二月十九日

安政二年正月廿二日

同日

叙従六位上　二十歳

叙正六位下　二十七歳

叙正六位上　三十四歳

遷任左近衛将曹

近衛府
村田家傳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

藤原武次

元和五年八月十四日　叙従五位下

同日　任因幡守

寛永五年正月十四日　卒

元和七年四月十一日　武連　武次男　実主殿寮伴友忠男

寛永六年四月六日　生

同十七年正月五日　任左近衛将監　九歳

叙従六位下　二十才

明暦元年十月廿六日　　兼任内膳守
寛文二年十二月十四日　叙従六位上　　四十二才
同　十年十二月廿七日　叙正六位下　　五十才
延宝七年五月廿一日　　叙正六位上　　五十九才
天和三年二月六日　　死　　六十才

明暦四年正月五日　　武清　武速男
寛文十年十二月廿七日　生
　　叙従六位下　　十三才

同日　　任左近衛将曹
延宝六年十二月十九日　叙従六位上　　二十一才
貞享二年十二月廿四日　轉任左近衛将監
同四年二月廿九日　　叙正六位下　　三十才
元禄六年十二月廿五日　叙正六位上　　三十六才
同十三年十二月八日　　叙従五位下　　四十三才
正徳三年十一月廿七日　死　　五十六才

武盛　武清男　実権大外記　職永男

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

元禄十二年十一月一日　生
正徳三年十月十一日　叙従六位下　十九才
同日　任尤近衛将曹
享保六年七月廿七日　叙従六位上　二十三才
同十二年八月三十日　叙正六位下　二十九才
同十四年七月廿六日　轉任尤近衛将監
延享二年十月十三日　辞官返上位記
武英　武盛男

享保九年九月三日　生
同二十年五月廿二日　叙従六位下　十二才
同日　任尤近衛将曹
延享三年三月十二日　辞官返上位記
利恭　武盛男
元文三年正月十九日　生
延享四年三月十日　叙従六位下　十才
同日　任尤近衛府生

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

宝暦八年十二月廿八日　叙従六位上　二十一才
同日　任左近衛将曹
明和二年正月廿七日　叙正六位下　二十八才
同日　轉任左近衛将監
同七年九月三日　補院御随身
同九年三月廿八日　叙正六位上　三十五才
天明三年六月八日　叙従五位下　四十六才
同七年十一月四日　還補本府

寛政九年十二月廿六日　叙従五位上　六十才
文化四年十月廿四日　叙正五位下　七十才
同九年十二月廿八日　卒　七十五才

明和八年十二月十一日　武詰　利恭男
安永九年三月廿六日　生
同日　叙従六位下　十才
天明七年十一月四日　任左近衛府生
補院御随身

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

同年十二月十九日　叙従六位上　十七才
同八年三月十四日　死
天明八年正月廿八日　生
寛政十年十月四日　武備　利恭男
同日　叙従六位下　十一才
同十三年正月廿二日　補院御随身
文化二年七月八日　叙従六位上　十八才
同日　任左近衛将曹
同十一年九月十三日　叙正六位下　二十七才
同十四年三月廿四日　補院御随身
同年四月廿八日　還補本府
文政四年五月六日　補院御随身
同年十二月十九日　叙正六位上　三十四才
同十二年十二月十日　叙従五位下　四十二才
同十三年三月四日　卒　四十三才

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

武職　武備男

文政三年五月廿八日　生

同十二年七月十日　叙従六位下　十才

同日　任右近衛府生

天保元年十二月十九日　補院御随身

同七年二月十一日　叙従六位上　十七才

同十四年二月八日　叙正六位下　二十四才

嘉永三年正月十七日　叙正六位上　三十一才

近衛府

中家傳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

寛政十一年二月廿八日
大江泰全近衛府
生
天保十五年四月廿五日
申次右近衛将監大江重全 姪
同八年十一月十七日
補左近衛番長 三十七歳
文政九年十一月廿五日
本家相續
天保八年十二月廿一日
守全近衛府
申次右近衛府生大江泰全 姪
生
補左近衛番長 二十歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

近衛府

山中家傳

九近衛將監大江泰全

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91　ガラス使用

兼應四年正月四日

寶永六年六月十九日

同　年十一月十四日

同　日

正徳元年八月二日

大江資全一生

任淡路守

叙従六位上　五十五歳

任左近衛将曹

死

義秀　資全男　始資禮

元禄元年九月十三日　生
正徳二年七月七日　叙従六位上　廿五歳
同　日　任右近衛将曹
享保三年四月十二日　叙正六位下　三十一歳
同九年十二月廿六日　兼任玄蕃權助
同十年十二月七日　叙正六位上　三七歳
同　日　轉任右近衛将監
同十三年六月十四日　補帯刀
同十六年十二月廿五日　任主殿首　四十八歳
同二十年十月九日　叙従五位下
寛延二年十月廿一日　轉任玄蕃助　右近衛将監如旧　六十九歳
寶暦六年五月廿三日　卒
正徳三年正月七日　生　秀品　義秀男　始資春

享保十年十二月廿五日　叙従六位下　十三歳
同　日　補左近衛府生　十八歳
同十五年十二月廿六日　叙従六位上
同　日　任左近衛将曹
同二十年二月廿五日　兼任隼人佑　廿三歳
同　年八月十三日　叙正六位下
寛保二年十二月廿四日　叙正六位上　三十歳

寶暦九年二月廿七日　轉任右近衛将監　隼人佑如旧
同　十二年正月廿八日　叙従五位下　五十歳
同　十三年四月廿四日　兼任玄蕃權助　辞隼人佑
安永三年十月廿五日　兼任三河守　辞玄蕃權助　六十四歳
同　五年二月朔日　叙従五位上　六十五歳
卒　蕃全　秀品男

寛延三年六月六日
寶暦十年三月十九日
同　日
同　十三年昔昔
明和四年二月八日
同　五年二月十九日
同　七年九月十三日

生
叙従六位下　十一歳
補右近衛府生
任允近衛将曹　十八歳
叙従六位上
兼任主膳正
補院御随身

同九年三月廿八日
安永二年十月廿八日
同　三年二月五日
同　年十二月三日
同四年三月二十日
同九年正月廿四日
同　年二月五日

兼任伊勢權少
補院主典代
叙正六位下　二十五歳
遷任玄蕃權助　辞伊勢權少　權助如旧
轉任允近衛将監
止院主典代

辞職允近衛将監等正六位下
玄蕃權助如故為右大史為秋養子

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

明和八年四月廿日　秀芳　蕃全男
安永六年九月廿日　生
同　七年五月十九日　叙従六位下　七歳
同　八年十月九日　補右近衛府生
天明二年四月六日　任左近衛将曹
　辞職官返上位記
　栄全　府随身右近将監大江秀品次男

天明二年四月六日　本家相續
同　四年十二月十九日　叙正六位下　二十五歳
同　七年十一月四日　補院御随身　二十四歳
寛政五年三月廿八日　叙正六位上　二十七歳
同　八年五月十三日　死
寶暦十二年十月二十日　重全　栄全男
　生

寛政八年八月七日　叙従六位下　三十五歳
同　日　補左近衛府生
同　十年正月廿八日　任左近衛将曹
享和三年正月七日　叙従六位上　四十二歳
同　年十二月廿四日　補院御随身
文化七年二月一日　叙正六位下　四十九歳
同年七月五日　轉右近衛将監

同　年同月十一日　還補本府
文政二年五月廿三日　死　五十八歳
天明五年五月五日　萬全　重全男
文化二年六月十一日　生
同　日　叙従六位下　二十一歳
同　六年四月一日　補左近衛府生
補帯刀

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

同七年八月三日　任右近衛将曹
同九年正月二十日　叙従六位上　二十八歳
同十五年二月廿八日　辞官返上位記
文化四年四月四日　芳全　童全男　実右大史秀芳次男
文政二年八月十九日　生
同日　叙従六位下　十三歳
補左近衛府生

同七年七月廿六日　補院近衛代
文政十年十二月十九日　叙従六位上　二十一歳
天保二年十月二十日　任左近衛将曹
同　年十一月七日　還補本府
同五年十二月二十日　叙正六位下　二十八歳
同八年七月廿九日　辞官返上位記
秦全　近衛府　山中故右近衛将監大江童全姪

天保八年十月十七日　本家相續
同年同月二十五日　叙從六位下　四十歳
同日　補帯刀
同十一年三月十八日　補左近衛府生
同十三年十月廿七日　任右近衛将曹
同十五年正月廿日　叙從六位上　四十七歳
弘化二年六月十四日　轉任左近衛将監

嘉永四年十月廿七日　叙正六位下　五十四歳
文政十一年十月十日　徳全　秦全男
天保九年五月廿九日　生
同日　叙從六位下　十一歳
補左近衛府生

弘化二年正月十八日　叙従六位上　十八歳
嘉永元年胃甘三日　辞官返上位記
天保十二年七月二日　成全　泰全次男
嘉永元年八月廿日　生
同　日　叙従六位下　八歳
補右近衛府生

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

近衛府
山本家傳

右近衛將曹源尚文

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

源尚村

生

延寶三年十月十五日

叙從六位上 宇歳

天和二年六月廿八日

任右衛門佐

同 日

遷任伯耆守

同 日

遷任但馬守

享保十年正月十五日

遷任伯耆守

同十五年四月廿四日

寛保元年十月二日

死

寶永七年十月四日
享保二年十二月廿日
同日
延享元年昔暮
同日
同三年二月十七日
同四年三月十九日
寶暦十年十月廿日
同日
明和六年正月廿九日
安永五年正月廿五日
天明七年二月廿七日
同年八月十七日
元文二年九月廿日

尚紀 尚村男
生
叙従六位下 辛巳歳
叙従六位上 辛巳歳
任右近衛府生
叙正六位下 辛亥歳
任右近衛将監 對馬守如舊
叙正六位上 辛酉歳
叙従五位下 辛巳歳
叙従五位上 辛亥歳
卒
尚雅 尚紀男
生

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

寛延二年十二月廿日
叙従六位下 十歳
同日
任右近衛府生
寶暦十年二月十二日
同日
叙従六位上 二十五歳
明和三年九月廿九日
改名尚芳
同六年三月一日
叙正六位下 二十歳
同七年九月十三日
補院御随身
安永五年四月二日
叙正六位上 二十八歳
同日
任左近衛将監
天明七年十一月四日
還補木府
同八年十二月廿四日
叙従五位下 四十歳
寛政十一年十月廿六日
叙従五位上 五十歳
文化六年三月四日
叙正五位下 六十歳
同十年三月十一日
卒
明和八年十二月三日
尚備 尚芳養子
生

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

天明七年十月十一日
同日
同日
寛政七年二月廿六日
同
同年十月十九日
享和三年二月廿三日
文化七年二月一日
叙従六位下　十七歳
任右近衛府生
補院御随身
叙従六位上　二十五歳
任左近衛将曹
還補本府
叙正六位下　二十二歳
叙正六位上　四十歳

文政五年十月廿八日
同日
天保十五年二月十三日
寛政十一年正月晦
文化七年二月晦
同日
同十四年三月晦
叙従五位下　四十二歳
転任左近衛将監
卒
尚文　尚備男
生
補左近衛府生
補院御随身
叙従六位下　十二歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

文政四年五月十六日

同日

同年八月四日

同十二年十二月廿一日

天保七年十二月十日

天保十年十二月四日

弘化四年七月九日

叙従六位上　二字二歳

任右近衛将監

爲院御厩舎

叙正六位下　二字歳

叙正六位上　二字八歳

尚定　尚文男

生

叙従六位下　九歳

補左近衛府生

同日

近衛府

渡邊家傳

右近衛將曹源供壽

源倶信　生

寛文十二年　月　日　仕　掃部守

寶永六年六月十日　叙従六位上　三六歳

同年十一月十四日　任右近衛将曹

同日　遷任甲斐守

正徳三年六月二日　叙正六位下　四六歳

享保二年十二月廿五日　転任左近衛将監

同日

同十年十二月七日　叙二位上　五十歳
同十三年六月十一日　任主膳正
同十八年十二月廿日　叙従五位下　六十二歳
同日　免主膳正
元文二年六月二日　卒　六十六歳
元禄六年　月　日　供栄
供信男
生

正徳二年七月七日　叙従六位下　廿歳
同日　任左近衛府生
同三年八月廿日　死　廿一歳

元禄九年三月廿日　供久
供信二男
生
正徳四年六月八日　叙従六位下　十九歳
同日　任左近衛府生

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

享保七年十月廿八日
同日　叙従六位上　廿七歳
同十三年六月廿日　任右近衛将曹
同十九年二月十一日　補帯刀
延享二年七月廿三日　叙正六位下　廿九歳
享保七年十二月廿六日　死　五十歳

供國
供久男
生

同十九年四月廿六日　叙従六位下　十三歳
同日　任右近衛府生
寛保三年十二月廿日　叙従六位上　廿二歳
延享二年十月十八日　改名供國
同四年三月十九日　補帯刀
同五年六月廿八日　任右近衛将曹
寛延四年七月廿一日　叙正六位下　三十歳
寶暦十一年八月廿八日　叙正六位上　四十歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

同日

明和七年八月晉

天明元年六月十一日

同四年二月十六日

寛政六年五月廿日

享和二年二月九日

喜橋

轉任右近衛將監

叙従五位下　四十九歳

兼任甲斐守

叙従五位上　六十二歳

叙三位下　七十三歳

卒　八十一歳

延享三年三月廿日

寶暦六年二月晉

生

叙従六位下　十一歳

同日

任右近衛府生

同十三年五月晉

叙従六位上　十八歳

同日

任右近衛將曹

明和五年六月廿二日

補帯刀

同七年九月十三日

補院御随身

同八年二月廿二日

叙正六位下　廿六歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91　　ガラス使用

安永三年八月廿七日　解官止位記

寶暦五年九月十八日　供香　生　供園養子 實廣幡家諸大夫播磨守源眞時男

安永三年十二月十九日　叙従六位下　二十歳

同　日　任右近衛府生

同四年七月十六日　辞官返上位記

明和六年八月十八日　供資　生　供園養子 實檢非違使右衛門大尉兼但馬守大石忠弘男

安永九年正月十九日　叙従六位下　十二歳

同　日　任右近衛府生

天明七年正月廿五日　叙従六位上　十九歳

同　日　任右近衛将曹

同　年二月廿八日　補院御随身

寛政六年後十一月晦日　叙正六位下　廿六歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

同 十二年十月廿一日
享和元年三月廿三日
同日
同年同月三十日
文化四年二月十三日
同六年三月四日
同日
文政五年四月廿六日
卒 五十四歳

兼任信濃守
叙 正六位上 三十三歳
轉任 右近衛將監 信濃守如舊
還補 本府
遷任 陸奥介 辭信濃守
叙 従五位下 四十一歳
轉任 陸奥守 右將監如舊
卒 五十四歳

寛政九年八月一日
文化四年六月廿三日
同日
同六年九月六日
同十一年五月廿日
同十三年四月廿七日
文政二年十二月廿七日

供 永
供奠男
生
叙 従六位下 十一歳
補 右近衛府生
補 院御隨身
叙 従六位上 十六歳
任 右近衛將曹
補 院御隨身

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

同四年八月廿六日　叙　正六位下　廿五歳

同十一年十二月十八日　叙　正六位上　三十二歳

同　十二年六月廿日　轉任　右近衛將監

同年同月廿七日　還補　本府

同　十三年七月廿八日　兼任　図書權助

天保七年正月十五日　叙　従五位下　四十歳

同日　遷任　甲斐守

弘化四年七月廿九日　薨　六十一歳

文政七年十一月七日　供壽生　供永男

天保四年十二月廿日　叙　従六位下　十歳

同日　補　右近衛府生

同　十年十月二日　為　院御隨身　近衛代

同　十一年三月十日　補　帶刀

同年十月廿九日　叙　従六位上　十七歳

弘化二年正月十八日　任　右近衛將曹

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

同四年十二月廿二日

安政二年二月廿二日

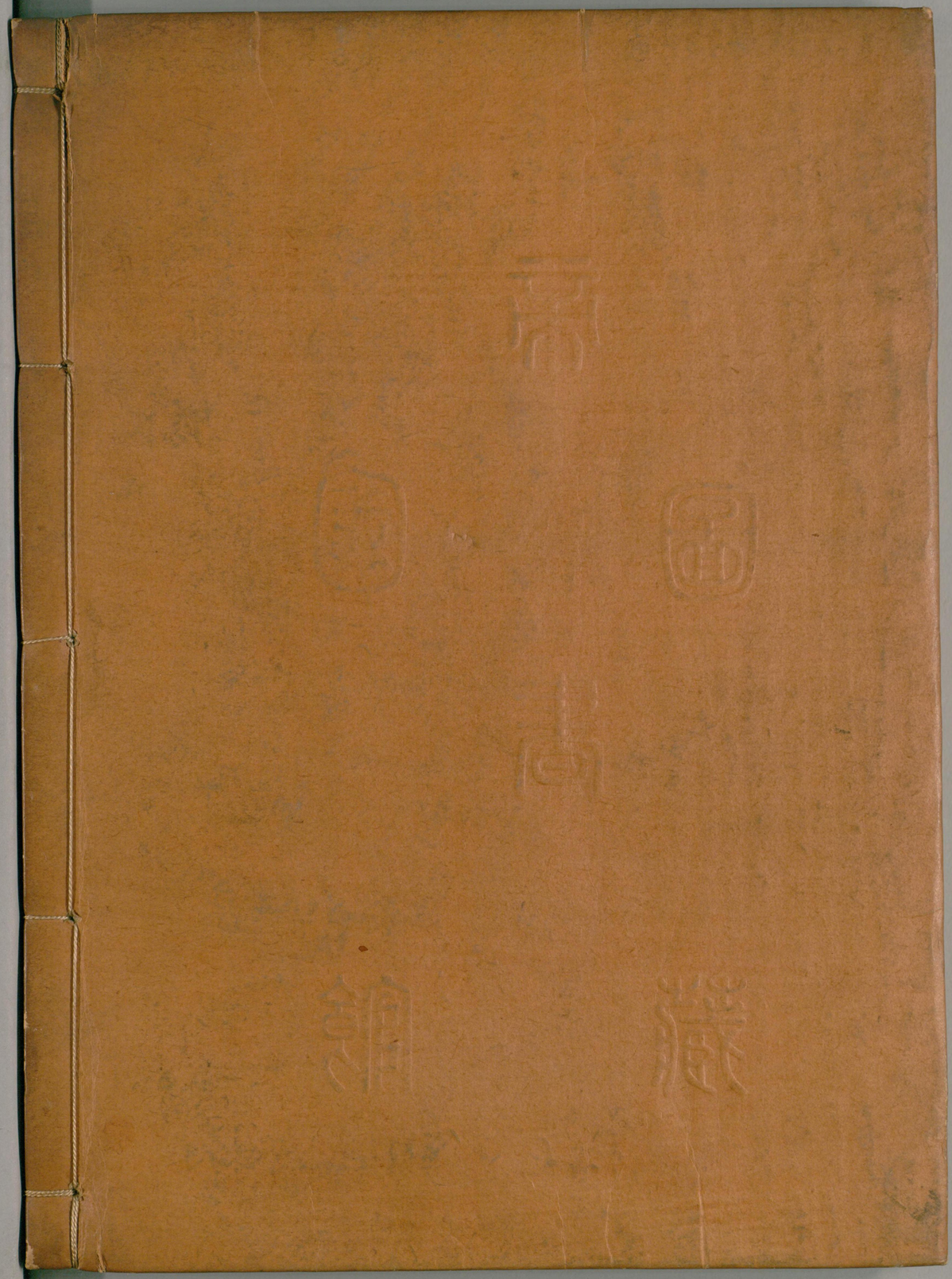
叙二六位下　五歳

叙二六位上　三十二歳

826
371
91

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用